

代表質問事項一覧

3月 4日 (月)

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問 (第1日) / 4日 (月)	伊 東 (市政会)	一括質問・答弁方式	<p>1 出生数減少の要因と対策について</p> <p>本市最大の課題と位置付ける人口減少だが、そのスピードが加速していることに大変な危機感を持っている。</p> <p>人口は出生数と死亡数の差（自然増減）、転入と転出の差（社会増減）によって増減するが、本市はどちらとも減少しており、特に出生数は令和5年に110人と過去最低を更新し、急激な人口減少が懸念される。</p> <p>令和6年度当初予算案が過去最大規模で編成されているが、人口減少に歯止めをかけ、維持・増加につなげる施策を選択し注力しなければならず、戦略的に行政経営を推進することが求められる。そこで3点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市長就任以降の平成30年から令和5年までの出生数の推移と結果に対し、どのように受け止めているのか。 ○ 令和6年度当初予算における人口減少対策の要は何か。 ○ 「大野ですくすく子育て応援パッケージ」を取りまとめて4年が経過したが、令和6年度当初予算(案)説明資料において記載がなくなった。今後、このパッケージをどのように周知していくのか。
			<p>2 こども家庭センターについて</p> <p>国はこども家庭庁を設置し、切れ目なくきめ細かい子育て支援をするため、各市区町村に対し「こども家庭センター」の設置を努力義務とした。</p> <p>これを受け、本市においても「こども家庭センター」を設置し、相談窓口を設けるとしている。</p> <p>そこで4点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 母子保健と児童福祉に関する十分な知識と経験を要するとされる「統括支援員」の育成状況を伺う。また支援を必要とする子育て家庭へのサポート体制はどう変わるのか。 ○ 「こども家庭センター」設置について、条例化していない理由は。 ○ こども家庭センターの主担当はこども支援課としているが、相談や支援内容は幅広く、他部局の業務も関わっている。責任主体は教育委員会なのか。 ○ 子育てや教育に関する行政側からの分かりやすい情報発信に期待するが、今後の取り組みは。

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問 (第1日) / 4日 (月)	伊 東 (市政会)	一括質問・答弁方式	<p>3 介護サービスの維持確保について</p> <p>団塊の世代が75歳以上に突入する2025年を目前に、人口の約38%が65歳以上となった本市においては、高齢者が住み慣れた地域で、安心して生きがいを持って暮らし続けることができるよう、社会基盤、医療とともに介護サービスの維持・確保が重要である。</p> <p>介護業界は慢性的に人手不足と言われる中、利用者が安定的に質の高いサービスを受けられるように、長期的な視点で議論していく必要があることから、3点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第9期大野市介護保険事業計画に基づく保険料額改定で、保険料が減額されるが、その狙いは。 ○ 訪問入浴補助などサービス基盤の維持・確保に向けた今後の対策は。 ○ 令和6年度における課題として「介護人材の確保」が挙げられているが、担い手確保に向けた具体的なアプローチ（奥越明成高校の生活福祉科福祉コースとの中学校連携、地元事業所との連携、外国人労働者受け入れ拡大に向けた支援等）や考えは。
			<p>4 防災対策と避難所整備について</p> <p>本年元日に発生した能登半島地震は、最大震度7を観測し、石川県を中心に広範囲にわたって甚大な被害をもたらした。本市においても震度4を記録し、多くの市民が自宅や外出先で地震の恐怖を味わった。テレビや報道で能登半島地震の被害の大きさを目の当たりにして、ホームセンターなどでは防災関連のグッズが品薄になっているという。</p> <p>こうした防災意識の高まりを契機に、防災対策や避難所整備について確認しておく必要があることから、3点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 能登半島地震を教訓に、改めて大規模地震に備えて個人や地域の自治会等に対し、求めることは何か（耐震化、避難の準備） ○ 積雪寒冷地の冬期を想定した防災の在り方や危険度については、かねてから指摘されてきたが、本市において避難場所としての小学校校舎や体育館の在り方は。また設備や備蓄充実の考えはあるか。 ○ 能登半島地震の被災地では、ペットがいることで避難をためらい、避難所へは行かず壊れた自宅で生活する人が数多く見られた。 2011年の東日本大震災以降、ペットと一緒に過ごせるペット同伴避難所の設置が進んでいるが、市の考えは。

令和6年3月 第438回 大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問（第1日）／4日（月）	伊 東（市政会）	一括質問・答弁方式	<p>5 六呂師エリアの活性化について</p> <p>福井県と本市が策定した六呂師高原活性化構想に基づく民間プロジェクトが今年度より始動となる。観光で稼ぐ地域を目指す方針であり、観光産業化による一次産業の活性化、雇用創出に向けた動きにつなげていかなければならない。</p> <p>六呂師エリアには市所有の公共施設も多く存在することから、県の支援を受けつつ、事業主体である六呂師高原開発事業者と市、地元住民の連携により持続可能な六呂師エリアの活性化を期待する。</p> <p>そこで3点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 六呂師エリアの活性化に対する市長の意気込みは。 ○ 開発事業者の事務所を本市に誘致し、緊密な連携の下、事業推進を図る必要があると考えるが、開発事業者との面談、協議の状況は。 ○ 日本一の星空として「星空保護区」の認定を取った南六呂師エリアにおける民間事業者の開発に対して、光害（ひかりがい）対策など、こういった対応を求めるのか。
			<p>6 旧乾側小学校跡地整備と借地返還について</p> <p>令和3年に再編された旧乾側小学校及び周辺の跡地整備について、議案第9号令和5年度大野市一般会計補正予算（第9号）案及び議案第1号令和6年度大野市一般会計予算案に計上されている。</p> <p>そこで、3点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校再編以降、進められてきた地元との協議状況（整備スケジュールを含む）は。 ○ 整備に伴う放課後の子どもの居場所の確保や公民館機能の維持をどうしていくか。 ○ 地域づくり部地域文化課から乾側公民館の改修スケジュールが遅れているとの報告があったが、借地返還に影響はないのか。

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問 (第1日) / 4日 (月)	伊東 (市政会)	一括質問・答弁方式	<p>7 子どもたちの教育環境について</p> <p>大野市小中学校再編計画に基づき、本年4月、中学校2校が新たなスタートラインに立つ。また、令和8年4月に小学校を7校とするための準備も着々と進められている。</p> <p>再編による課題を整理し、子どもたちの教育環境を整えながら、今後も引き続き、児童・生徒や保護者の不安に寄り添った支援が求められることから、4点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本市は、休日部活動の地域クラブへの移行を推進するため、統括コーディネーターを配置し、地域スポーツ団体や文化活動の指導者などに対して、受け入れに関する協議や交渉を進めていくとのことだったが、その成果は。 ○ 地域移行により、活動の責任主体が曖昧にならないよう、学校教育との関係を明確にすることが大切だと考えるが、本市の考えは。 また、地域移行によって今後保護者の経済的な負担が増える懸念があるが、そうなった場合、どう対応するのか。 ○ 議会では共働き家庭の多い本市における放課後の居場所づくり充実を求めてきた。令和6年度当初予算において、放課後児童クラブや放課後子ども教室の有料化が計上されているが、子育て世代に理解を求める上でも有料化に伴い充実するサービスをしっかり示すことが重要と考えるが、その内容は。 また、新たな負担を求めるに当たり条例化しないことは、地方自治法第228条の規定に抵触しないのか。 ○ 令和8年の小学校再編で児童が増える有終南小学校と富田小学校では、放課後の子どもの居場所について、学校の空き教室等の利用も考えられる。実施設計に反映させるべきと考えるがどうか。

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問（第1日）／4日（月）	猪嶋（大野市民の会）	一括質問・答弁方式	<p>1 星空のまち おおのについて</p> <p>本市が「星空のまち」を標榜し、南六呂師地区が昨年8月に「星空保護区」の認定を受けたことは、非常に喜ばしく、観光など地域の活性化に寄与するものと思われる。</p> <p>そして、昨年10月に開催された「星空の街・あおぞらの街」全国大会で岩手県立盛岡第一高等学校天文部の生徒をはじめとした各種団体、個人が表彰を受けたことは印象に残っているところである。</p> <p>このような素晴らしい特徴を継続して発信し、未来へつなげていくには、教育課程からの取り組みが重要と考える。</p> <p>市内の小・中学校や高校などでは学校を主体としたクラブ活動や課外授業、大学においては星空キャンパスの誘致など、いろいろな方法・手段はあると思うが、現在、このような取り組みを行う予定はあるのか。</p>
			<p>2 事業予算の編成について</p> <p>今定例会で提出されている補正予算案を見ると、事業予算の減額補正が目立っている。厳しい予算の中で盛り込んだ事業がその目的を十分に果たせず減額せざるを得ない 事態は好ましくない。逆に言えば、その分を他の事業に充当できたのではと考える。</p> <p>このような事態を抑えるためには、予算編成時点で市民のニーズなどを十分に精査した上で計上すべきと思われるが、どのような点に気を付けて予算編成を行っているか。反省すべき点はないか。</p>
			<p>3 能登半島地震を踏まえた対応について</p> <p>1月1日に起きた能登半島地震は、地域に多大な影響を与え、本復旧の時期も見通せない状況である。自治体自身も被災し、他所からの応援を受け業務を行っているとのことである。</p> <p>本市にも地域防災計画があり、災害時には本計画に基づき、災害対応を行うこととしている。</p> <p>本計画は本年2月14日に改訂され、市内の初動態勢を見直したとのことであるが、今回の地震でどのような点に問題があり、見直したのか。</p> <p>また、能登半島地震でも課題となっている上下水道などの復旧体制や他の部分でも改善の必要はないか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問（第1日）／4日（月）	猪嶋（大野市民の会）	一括質問・答弁方式	<p>4 大規模地震発生時における道路の確保について</p> <p>能登半島地震においては、半島内の道路の被災が著しく、初期の救援活動に支障を来したと聞いている。</p> <p>正確なことは今後検証されていくと思われるが、本市の地理的状況は半島ではないが盆地という特性上、市外とのアクセス道路は限定的であり、地震時にこれらの道路が被災すると同様の事態が想定される。</p> <p>県は今回の地震を受けて、「道路啓開計画」を新年度策定するとのことであるが、この計画で本市における市外アクセス道路の位置付けがどのようになるのか、注視する必要がある。</p> <p>また、本市の幹線道路においても同様の計画を検討すべきと考えるが、そのような予定はあるのか。</p>
			<p>5 新幹線開業に備えた二次交通の整備について</p> <p>3月16日に予定されている敦賀までの北陸新幹線延伸により、本市においても観光客の増加が期待される場所であるが、これまでの議会でも話題になっているように、タクシーなどの二次交通の手段が乏しい状況である。</p> <p>令和6年度予算では市内タクシー事業者への支援策が盛り込まれているため、状況の改善が図られると思うが、さらに利便性を高めるべく、次のステップとして、令和6年度より解禁されるライドシェアも検討する時期に来ていると思われる。このことについて市はどのように考えているのか。</p> <p>また、別の交通手段としてレンタカーの充実も考えられるが、観光客の利便性を図るため、駅に併設された駐車場を活用したレンタカーの配置が検討できないか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問 (第1日) / 4日 (月)	高岡 (もえぎ会)	一括質問・答弁方式	<p>1 市政全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本市における災害時インフラ整備 (道路・電気・水道等) 計画について。 ○ 昭和56年以前の建物数とここ5年程の耐震診断数と改修件数はどうなっているのか。また今後の施策推進について。 ○ 災害時における高齢者・障がい者の避難誘導や避難方法、また自主防災組織の役割と連携について。 ○ 近年の火災事故で出火原因がはっきり特定できていないのはなぜか。また非常備消防隊員は確保できているのか。 ○ 高速交通アクションプログラムでうたっているまちづくりの具体的な進捗 (しんちよく) と商工業に対する活性化策はどこまで進んでいるか。 ○ 本市の産業団地は販売開始以来7年で完売すると聞き及んでいるが、いかなる企業が進出してくるのか。 ○ 農業者の現状と後継者育成策、新規営農者への取り組み、大野産作物の認定はどのようになっているのか。 ○ 自殺・いじめ・不登校といった問題行動の現状はどうか。その対策と効果はどうか。 ○ 小・中学校における金管バンド・ブラスバンドが少なくなっているように思うが、現状はどうか。 ○ 管内における小・中学校の生徒の成績は県下でどれくらいの位置にあるのか。 ○ 市長就任以来の出生数の推移を知りたい。また子育てパッケージとの整合性はどうか。 ○ 保育料完全無償化についての考えはどうか。 ○ 高齢化・人口減少に歯止めがかからないが、行政施策はどうか。 ○ ライドシェアについての考えはどうか。 ○ Jクレジットについての考えはどうか。 ○ 本市の市債・臨時財政対策債・過疎債・下水道事業債 (現在) の残高はどうか。また経常収支比率が悪くなっているがどうか。

令和6年3月 第438回 大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問 (第1日) ／4日 (月)	高岡 (もえぎ会)	一括質問・答弁方式	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主財源比率が30%を割っているが、行財政改革は本当に進んでいるのか。 ○ 当初予算における人件費と物件費等の固定費の割合が非常に高くなっているがどうか。 ○ 最近地下水位の低下と市街地を流れる河川流量が激減しているが、原因と対策はどうか。 ○ 本市は観光入込数を設定して市内外へPRしているが、コロナ解禁の現在も来訪客が増えていないように感じるがどうか。 ○ 大野七間朝市の出店数が激減しているが、行政としてはどう考えているのか。

一般質問事項一覧

3月 4日（月）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／4日（月）	帰山（大野市民の会）	一括質問・答弁方式	<p>1 公共下水道事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の加入率はどのような状況なのか。 ○ 加入促進に向けどのような対策を行っているのか。 ○ 合併処理浄化槽からの切り替えは進んでいるのか。 ○ 農業集落排水との統合スケジュールはどのような状況なのか。 <p>2 国道158号並びに中部縦貫自動車道について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国道158号境寺・計石バイパスの用地取得の進捗（しんちよく）状況は。 ○ 国道158号境寺・計石バイパスの工事の進捗状況は。 ○ 中部縦貫自動車道の工事の進捗状況は。 ○ 市民の関心が高い事業だが、進捗状況を市民にどのように知らせているのか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／5日（火）	廣瀬（市政会）	一括質問・答弁方式	<p>1 結ステーション駐車場での有料化実証実験について</p> <p>結ステーション駐車場での有料化実証実験については、昨年の9月議会で前もって気になる点を聞いており、先日の予算特別委員会でも質問があったが、有料化実証実験がいよいよ始まるということで、詳しい内容について改めて質問する。</p> <p>有料化実証実験のための予算として、結ステーション周辺施設整備事業2,853万1千円が計上されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どの範囲を有料化実証実験の対象地とするのか。 ○ 2,853万1千円の内訳は、報償費11万5千円、需用費190万3千円、委託料2,651万3千円となっている。この予算の詳しい用途は。
			<p>2 小中学校再編と校舎改修について</p> <p>いよいよ本年4月に中学校が再編され、2年後の令和8年4月には小学校の再編が行われる。</p> <p>この小中学校再編とそれに伴う校舎改修について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今年、有終西小学校を卒業する児童の進学先はどうなったのか。 ○ 教育長の所信表明の中で、新年度は有終東小学校の通学区域について審議会を設置し、調査審議すると述べられたが、どのような取り組みをするのか。 ○ 市長の提案理由の中で、上庄中学校、尚徳中学校、和泉中学校の生徒を開成中学校、陽明中学校に迎えるに当たり、生徒が安心・安全に通学し、新たな環境に一日も早く慣れ、生き生きと学校生活が送れるよう、さらなる教育環境の充実を図っていくと述べられたが、どのような支援を行うのか。 ○ 2年後の小学校再編までの大まかなスケジュールは。 ○ 先日の予算特別委員会で、開成中学校、陽明中学校の改修が予定より増額となったため、体育館の工事を延期するという答弁があったが、これからも小学校の校舎改修が続くが、いつ中学校の体育館の工事を行うのか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／5日（火）	林（市政会）	一括質問・答弁方式	<p>1 大野らしい女性活躍の場づくりと歳出の重点化について</p> <p>令和5年中の本市における出生数は110人と前年比39人減少し、本年1月1日現在の福井県推計による本市の人口が29,318人と公表された。</p> <p>令和22年（2040年）までの30年間で、20歳から39歳の女性人口が半減する自治体が消滅可能性都市と呼ばれ、全国896都市の一つに大野市が入ってしまっている。</p> <p>提案理由にもあるように、現実を直視し、危機感を強めて対策を重点化しなければならない。</p> <p>北陸初の女性市長として女性活躍の場づくり、環境整備に市民の期待は大きかったと思われるが、施策に反映できなければ成果は見えない。誇りある大野市を取り戻すため質問する。</p> <p>○ 今定例会に議案第37号「大野市過疎地域持続的発展計画」の変更が提出されているが、掲載された事業が基本目標である令和7年の人口29,000人達成にどう寄与しているのか、市長の考えは。</p> <p>○ 令和6年度当初予算（案）説明資料に示した「歳出の重点化」を全ての職員が徹底して実行するためにも、外部の視点、特に女性の声をどう反映させるのが重要である。</p> <p>市民アンケートなどの予算が計上されているが、市の施策に関わる女性も多くいる中、その声は市長まで届いているのか。また職員へどのような指示を出しているのか。</p> <p>○ 令和6年度予算において、市職員の人材育成基本方針改訂が予定されている。現行の組織体制やグループ制に対する職員の評価や声をどう受け止めているのか。</p>
			<p>2 市内のキャッシュポイントと中心市街地活性化について</p> <p>本市は、中部縦貫自動車道の県内全線開通を見据え、歴史ある町並みや自然を生かした観光誘客による活性化に向けて、本市が持つ資源のホンモノの価値を高める総ブランド化を進めてきた。</p> <p>平成20年から10年間、2期にわたる大野市中心市街地活性化基本計画に基づきハード・ソフト事業に取り組むことで、まちなか観光が進展した。</p> <p>内閣府ホームページでは、好取組事例として「関連施設の年間入込み客数（中心市街地主要4施設）」が基準値（136,093人）を大きく上回る200,754人（平成29年実績値）であったと公表されている。</p> <p>しかしながら、現在は空き店舗が目立ち、地価は下落し、固定資産税や都市計画税にも影響を及ぼしている。</p> <p>商店街振興の予算も減っており、第三セクター（株）平成大野屋の解散を控える中、まちの顔である中心市街地のまちづくりの方向性を明確にするため質問する。</p> <p>○ 提案理由で市内事業者の稼ぐ力向上と観光の魅力創出に取り組むと述べたが、市長が考える市内のキャッシュポイントはどこなのか。</p> <p>○ 市長が描く中心市街地の活性化した姿、主なターゲット層は。</p> <p>○ 「関連施設の年間入込み客数（中心市街地主要4施設）」の最新数値、令和5年実績値84,364人に対する市長の受け止めは。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／5日(火)	野村(無党派)	一問一答方式	<p>1 能登半島地震の教訓から、本市に生かすことは</p> <p>能登半島地震では家屋の倒壊や土砂崩れなどで多くの方が被災された。日本列島のどこでも、このような地震が発生する可能性がある。 今回の地震で本市は現地へ職員を派遣するなどの支援活動を行っているが、現地の状況から見えてきたものは何か。また、その教訓から現在の本市地域防災計画や総合防災マップ(ハザードマップ)などを見直していく考えはないか。</p> <p>2 2050年には市の人口が17,078人まで減少すると推計されている。どのように人口減少を食い止める</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所調査では、本市の人口は2050年に17,078人まで減少すると推計されている。 同研究所では「第16回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)」も行っており、その調査においては、約8割の男女が結婚し子どもを授かりたいとの意思を示している一方で、結婚しない理由として「結婚資金が足りない」、「住居が持てない」、「職業や仕事上の問題」を挙げている。 これらのことは、非正規雇用による低賃金・不安定雇用といった問題があることが顕著に表れているのではないかと思われる。 若者が安心して、結婚・子育てができる環境を整えるために、市として国に対し求めることは何か。また、市が行うべきことは何か。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) / 5日(火)	高田(市政会)	一問一答方式	<p>1 住民に愛される公民館について</p> <hr/> <p>公民館は子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々の生きがいや健康づくり、仲間づくりなどを目的とした社会教育法に基づく施設である。 公民館の在り方について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 結の故郷地域が輝く交付金事業の各公民館の取り組みと実績を伺う。 ○ 集落支援員の配置に関する考えを伺う。 ○ 地域主導型公民館（地域交流センター等）への移行についての考えを伺う。
			<p>2 情報発信事業について</p> <hr/> <p>令和6年度当初予算案に情報発信事業費が幾つか計上されているが、下記の事業について内容と目的を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 魅力発信プロモーション事業 ○ 子育てにやさしいまち大野情報発信強化事業 ○ 観光情報発信事業 ○ 日本一の星空発信事業

令和6年3月 第438回 大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／5日 (火)	山崎 (清風会)	一括質問・答弁方式	<p>1 有終南小学校のグラウンド芝生化について</p>
			<p>グラウンド芝生化負担金とは、どのようなものか伺う。</p>
			<p>2 市営バス下庄線について</p>
<p>小学生からバス運賃として50円を徴収することのだが、運賃はどうしても必要なものなのか。他のスクールバスとの平等性に欠けないか。</p>			
<p>3 休日急患診療所について</p>			
<p>小児科診療の現状について伺う。</p>			

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第3日) / 6日(水)	笹山(大野市民の会)	一問一答方式	<p>1 南六呂師区の外灯について</p> <p>光害(ひかりがい)対策として南六呂師区内の全ての外灯の交換を行った。その かいもあり、昨年、星空保護区に認定され、市内へ来られるツアー客も増えてい と聞く。 今回の保護区の認定取得には地域住民の協力が最も重要だったと言えるが、今 後、南六呂師区以外でも光害対策の外灯へ交換する予定はあるか。</p>
			<p>2 スターランドさかだにの今後について</p> <p>スターランドさかだにが再開して5月で1年がたとうとしている。運営協議会や 地元のサポートもあり来場者も増えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2年目に入るスターランドさかだにをどのようにしていきたいか、市の展望を 伺う。 ○ 六呂師高原活性化構想との連携はどのように考えているか。
			<p>3 ビジネスプランコンテストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 去る2月2日に「結のビジネスプランコンテスト2024」のキックオフミーティ ングが開催された。大野で新たなビジネスのアイデアを発掘する良い機会と して応援したい事業であるが、市としてはどの程度この企画に力を入れていくつ もりか。 ○ 全国でビジネスコンテストが開催されているが、本市で参加する強みは何か。 ○ 今後も事業は継続していくのか。

令和6年3月 第438回 大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第3日）／6日（水）	木戸屋（もえぎ会）	一括質問・答弁方式	<p>1 令和6年度当初予算について</p> <p>令和6年度当初予算案において、一般会計の予算は初めて200億円を超え213億8000万円となり、特別会計と企業会計を合わせると、初めて300億円を超え約324億円となった。また自主財源は初めて30^{億円}を切り、28.3^{億円}となった。</p> <p>市債として約34億円を借金する案となっており、昨年度の約2.2倍になっている。過去数年間の予算案と比べても、市債額は2～3倍になっている。</p> <p>本市の地方債の現在高は、令和5年度末現在高見込額は約123億円であるが、1年後には約146億円となることが見込まれ、約23億円もの借金が増えることになる。</p> <p>本市の計画によると、令和7年度も大型公共工事が続き、財政の逼迫（ひっばく）がさらに強くなることが予想される。</p> <p>そこで、次の点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一般会計の予算案の規模がここまで大きくなった理由は何か。具体的な数字を挙げての説明を求める。 ○ 令和7年度に予定されている主な大型公共工事は何か。また、それぞれの予算の見込み額は幾らか。 ○ 第六次大野市総合計画「行財政」項目の令和7年度末の成果指標は、財政調整基金残高20億円、将来負担比率45.5[%]であるが、達成できるのか。
			<p>2 令和6年度の中学校スクールバスの運行について</p> <p>本市では、令和6年4月から新開成中学校、新陽明中学校の2中学校体制がスタートする。中学生の大規模なスクールバスでの登下校が約1カ月後に始まる。</p> <p>令和5年12月第437回大野市議会定例会の一般質問で、スクールバスの運行について何点か質問したところ、「児童・生徒にとって、より安全・安心なスクールバスの運行を図るため、スムーズな乗降、運行時の安全管理、緊急時の対応手順などを取りまとめた『大野市スクールバス運行マニュアル』を委託事業者や学校と協議の上、教育委員会にて作成し運用していく」という答弁があった。</p> <p>そこで、次の点について質問をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「大野市スクールバス運行マニュアル」作成の進捗（しんちよく）状況はどうか。 ○ どのような項目について協議しているのか。具体的な説明を求める。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第3日）／6日（水）	木戸屋（もえぎ会）	一括質問・答弁方式	<p>3 放課後児童クラブ・子ども教室保護者への新たな負担金について</p> <p>本市では、子育て世代に「子育ては楽しいもの」と感じてもらえるよう、地域できめの細やかな子育て応援をしているというメッセージを取りまとめた「大野ですくすく子育て応援パッケージ」を令和2年度より充実させながら取り組んできている。また令和5年8月には、「こどもまんなか応援サポーター」宣言をしたばかりである。</p> <p>ところが、本定例会で示された予算案の中に、放課後児童クラブと放課後子ども教室の利用者に対して、児童1人当たり年間3,200円を新たに徴収する案が盛り込まれた。</p> <p>この負担金は、これまでの本市の子育て応援の各施策に逆行するものであり、県内トップレベルの子育て応援をしている本市のイメージダウンにつながる恐れのある負担金であると考えます。</p> <p>そこで、次の点について質問をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ なぜ、子育て世代に対して負担を重くする負担金を新たに徴収するのか。 ○ この負担金によって、歳入がどれだけ増えるのか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第3日）／6日（水）	梅林（もえぎ会）	一括質問・答弁方式	<p>1 地下水を大野の宝、公共の財産として次世代へ</p> <p>○ 能登半島地震の被災地で井戸が「命の水」になっている。断水が長期化する地域では、井戸を持つ住民が水を分け合ったり、新たに井戸の掘削も始まっていると聞き及んでいる。</p> <p>本市においては8割近い市民が個人で井戸を持ち、今日まで保全・維持し、地下水を飲用水として利用する全国でもまれに見る地方公共団体である。</p> <p>今回の地震で改めて水の大切さを痛感した市民も多いと思う。</p> <p>この機に、市民の水に対する関心の醸成を図り、市民一丸となって地下水を守っていくため、新たな取り組みも含めどのように考えているか。</p> <p>○ 越前おおの水のがっこう管理運営経費として、739万7千円が令和6年度当初予算（案）に計上されているが、その用途を問う。</p> <p>○ 大野市地下水保全条例第13条第1項「融雪のため地下水を利用してはならない」の条項があるが、徹底されているか。</p>
		一括質問・答弁方式	<p>2 未来を拓く大野っ子が健やかに育つまち</p> <p>○ 議案第1号 令和6年度当初予算（案）の児童福祉費で予算額480万円の新規事業「低所得世帯の児童の習い事支援事業補助」の目的と事業内容を問う。</p> <p>○ 議案第1号 令和6年度当初予算（案）の児童福祉費、予算額250万円の「子ども食堂見守り支援事業補助」の目的と事業内容を問う。</p>
		一括質問・答弁方式	<p>3 みんながつながり地域が生き生きと輝くまち</p> <p>大野市水落町の市道の隅に、「林歌子誕生の地」と刻まれた石碑が建っている。何度か修復された跡も見られる。</p> <p>林歌子氏とは孤児や女性救済のため一生をささげた活動家として全国、また世界的にも知られているが、地元ではあまり知られていない。</p> <p>元治元年（1864）代官町、現在の水落町に生まれ、2歳で母を亡くし、祖母と教育熱心な父に育てられ、明治10年福井市に設立された女子師範学校に大野郡より選ばれた三人の中の一人として入学。翌11年、明治天皇北陸巡幸の折、大隈重信の前で講義を行っている。</p> <p>明治13年有終南小学校訓導として赴任するが、離婚、子どもを亡くすという悲嘆の中、苦学をしてでも勉強をしたいと大野を離れる。しかし故郷大野のことを思い幾度も帰省し、現在の大野高校や旧旭幼稚園等で講演をしている。まさに教育理念にうたわれている『進取の気象』に富んだ女性である。</p> <p>第六次大野市総合計画では、「みんながつながり地域が生き生きと輝くまち」を基本目標に、文化芸術の振興と継承の推進、文化遺産・自然遺産の保護と活用、そして郷土の歴史や文化の魅力発信を施策に上げている。</p> <p>林歌子氏の石碑の保護と活用、功績や魅力など、郷土の宝として、子どもをはじめ市民や来訪者に発信していただきたいが、その見解を伺う。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第3日）／6日（水）	岸本（大野市民の会）	一問一答方式	<p>1 稼ぐ力と地域経済の活性化について</p> <p>本年は市制施行70周年という節目の年であるが、中部縦貫自動車道路九頭竜ICまでの開通や南六呂師エリアでの星空保護区の認定、旧蕨生小学校グラウンドへのホテル誘致決定など、非常に大きな経済的飛躍を迎えようとしている。</p> <p>一方、富田産業団地では4区画、約7.6㌠がいまだ売却できていない現状である。まちなかの観光入込客数は増加していると思うが、現状はまだまだ少ないと感じる。</p> <p>地域経済の活性化には、企業誘致や市内事業者の「稼ぐ力」の向上、観光入込数増加の実現が不可欠であると考える。</p> <p>予算特別委員会で会派（大野市民の会）として質問したが、改めて3点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年度当初予算の基本方針に記載している、市内事業者の「稼ぐ力」と企業価値の向上による地域経済の自立と好循環の実現に向けた支援とはどのような支援なのか、具体的に伺う。 ○ 令和6年度当初予算基本方針に記載している、積極的な企業誘致を推進するとともに創業を支援し、多様な働く場を創出するとあるが、具体的な取り組みを伺う。 ○ 観光入込客数の現状と観光事業の課題について伺う。
			<p>2 大野市の消防水利の現状について</p> <p>能登半島地震により輪島市の朝市周辺は大規模な火災が発生し、朝市会場一帯は焼け野原となり、地震における火災の恐ろしさを目の当たりにし、非常に心が痛んだ。</p> <p>本市においても昨年10月25日、12月19日、本年1月20日に3件の火災が発生し、うち1件は死亡者も出る非常にショッキングで悲しい出来事であった。</p> <p>幸いにも1月20日の有明町内の火災の際には積雪がなく、用水路に水が流れていた。これがもし積雪があった場合に、消火活動に必要な水の確保は大丈夫なのかと思い、4点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の本市の消防水利の現状を伺う。 ○ 消防水利の定期的な点検はされているのか。 ○ 消防水利には消火栓、防火水槽、河川の三つがあると理解しているが、特に河川の活用について、細い用水路は冬場の雪により流れが悪くなることが懸念されるが、消火活動時の心配はないのか。 ○ 消防力向上のためには、今後何が必要と考えるか。